

最先端施設及び最新冷凍・空調設備 県外視察研修会

日時	令和6年9月4日(水)～9月6日(金) <2泊3日>	
宿泊先	ホテルマイステイズ札幌アспен 〒060-0808 札幌市北区北8条西4丁目5番地 TEL 011-700-2111	
出発便	那覇空港→羽田空港→新千歳空港 那覇発JAL 900(7:20発) 羽田発JAL 511(10:30発) 新千歳着(12:05)	
帰便	新千歳空港→羽田空港→那覇空港 新千歳発JAL 510(13:05発) 羽田発JAL921(15:55発) 那覇空港着(18:35)	
1日目	<h2>新千歳空港ターミナルビル</h2> <p>～省エネ・環境性優れた空港ターミナルビル～</p>	
14:00 ～ 15:30	<p>①新千歳空港における環境へ取り組み[CO2削減]※概要説明 ②天然ガスへの燃料転換 ③コージェネレーションの採用 [排熱の電力・温熱・冷熱に変換し、自前でエネルギー供給] ④雪冷熱エネルギーの活用 [除雪で集められた雪の冷水利用] ⑤雪山方式冷熱供給システム [雪氷を融解した冷水利用] 工事中の為、一部見学が出来ない場所もございますので了承下さい。</p>	
2日目	<h2>北海道クールロジスティクス苫小牧埠頭</h2> <p>～自動温度制御、自動倉庫、移動ラック、IT活用等の最新冷凍倉庫～</p>	 
9:30 ～ 11:00	<p>北海道クールロジスティクスプレイスは、多温度対応、鮮度維持、環境対応、省エネ・省力化など先進的な機能を有しております。こうした先進的な機能により、①道内原材料等の鮮度を維持した「長期保管インフラ」、災害対応力を支える「地域防災拠点」の整備を図り、食の物流の高度化へ貢献を目指します。食品を取り扱う事業者にとって「食の安全確保」は最重要事項です。当社施設では、衛生管理を徹底し食品の安全性確保に取り組んでおり、こうした当社の衛生管理方法は北海道が独自に設定した基準「北海道HACCP自主衛生管理認証制度」に適合し倉庫業者として初めて同制度を認証取得しました。食の安全に万全を期して、道産食品の安全性確保と信頼性向上に努めています</p>	
2日目	<h2>「エスコンフィールドHOKKAIDO」</h2> <p>～ESP(エネルギーサービスプロバイダ)北海道電力～</p>	
14:00 ～ 15:00	<p>新球場エスコンフィールドは、世界最大級のLEDビジョン等の最先端技術を活用した装置や、電気ヒートポンプやガスコージェネレーションなどの省エネ・環境性に優れた設備の他、開閉式屋根や球場内温浴・ホテル施設等、最新鋭且つユニークな施設・設備で構成されています。当施設としては天然ガスコージェネレーションを核として電気・温水・冷水を作り、HPポンプ設備やボイラー設備と組み合わせ、施設全体にエネルギー供給を行っています。その他、大型の非常用発電機も備え、万が一の停電時のBCPの維持や来場者の安全確保に配慮した設備構成となっています。 <今回の見学は球場施設のみです。機械室の見学はありません></p>	
2日目	<h2>「KUBOTA AGRI FRONT」</h2> <p>～最先端作物栽培、未来の農業が体験できる施設～</p>	
15:30 ～ 16:30	<p>当施設は、㈱ファイターズスポーツ&エンターテインメントおよび国立大学法人北海道大学との間で締結した3者連携協定に基づき企画・構想した施設です。今後も「次世代の農業を担う人材の育成」、「農業を中心としたコミュニティの創出や人材交流」といったテーマに共同で取り組み、広大な北海道の大地から、農業の未来ビジョンを発信する最先端施設。 ※ロボットの生産による植物工場、衛生による遠隔運転等</p>	
3日目	<h2>新さっぽろエネルギーセンター(北ガス)</h2> <p>～省エネと災害に強いスマートシティ～</p>	 
9:00 ～ 10:30	<p>札幌の副都心、新さっぽろ駅周辺の新たな街全体のエネルギーを担う中心施設が「新さっぽろエネルギーセンター」です。街内の各施設の照明、冷暖房、給湯、融雪などを行うために必要なエネルギーの製造・供給をしています。新さっぽろエネルギーセンター内に設置された発電機(ガスコージェネレーション)や熱源機器によって電気・温水・冷水をつくり、エネルギーとして活用されます。また、新さっぽろエネルギーセンターでは、CEMS(Community Energy Management System: 地域エネルギーマネジメントシステム)によって、エネルギー使用状況の把握や需要を予測し、エネルギーを効率的に管理しながら、街全体の省エネを支える省エネと災害に強いスマートシティ。</p>	